



河村理事長にご講義をいただきました。施設での『一流の子育て』の中には、周囲から愛されるきっかけとなるよう、“可愛げのある子”に育つ意識をされていることや、子どもたちの将来の自立に向けて、学習面では公文学習の導入、学習以外にも地域のスポーツ活動や文化活動に積極的に参加をし、その子がつもつ能力や可能性を引き出すことにより自尊心の向上につなげていく取り組みをされています。お話は、皆さんが聞き入るほど、大変興味深いものでした。

また、民生委員・児童委員、主任児童委員にできることは？との質問に“おせっかいを焼いてください”との回答があり、これには、「おせっかいで良いんだ・・・。」と感じた委員さんも多くおられた様です。講義後には重要文化財となっている施設内を案内いただき、こちらも大変魅力的でした。研修後の車内での振り返りでは、「今からでも可愛げを意識します」「これからも、おせっかいをたくさん焼きます」等、改めての気づきや、感じることの多い有意義な研修となりました。

